

＜絵本の読み聞かせ＞

日本の保育園や幼稚園を経験していない外国籍の子どもたちの多くは、小学校入学前まで、日本語の文字環境が十分ではない所で生活しています。日本の保育園、幼稚園を経験していても、家に帰れば、絵本を読んでもくれる大人がいない子どもの方が多いのです。

5歳までに(小学校入学前までに)、どれだけ絵本を読んでもらっていたかで、その子の言語力の伸びは、大きく左右されます。母語で絵本を読んでもらった経験のある子どもは、その知識を日本語で読んでもらう絵本の理解につなげることが可能です。

外国の子どもに、いろいろな機会をとらえて絵本を読み聞かせてください。

ご紹介する絵本リストは、日々の日本語支援の中で、私たちが取り扱ったものや、読み聞かせたいなと思っているもののリストです。ここに挙げた以外にも、素晴らしい絵本がたくさんあると思います。子どもたちの認知的な発達や興味、日本語の力などをよく観察し、よい絵本を選んであげてください。

子どもの年齢が上がるにつれて、絵本の選び方が難しくなります。易しい日本語で書かれた絵本は、内容的にも低年齢の子ども向きのものがほとんどです。小学校高学年の子どもたちにも、中学生にも、数多くの物語を楽しんでもらいたいのですが、子どもたちの日本語力とその年齢の精神発達に合った絵本や物語は、なかなか見つかりません。

そんな悩みを解決してくれたのが、「にほんごよむよむ文庫」の『レベル別 日本語多読ライブラリー』(アスク出版)でした。日本語入門期のレベル0から中級レベル(語彙数1300)のレベル4まで出ており、漢字には全てひらがなが付いています。国語の読解の宿題がいやでいやでたまらなかった4年生の女兒(来日1年5か月)が、このシリーズの本をむさぼるように読み始めたという例もあります。

皆さんも、支援対象の子どもたちに合った絵本を是非とも見つけてあげてください。

◆絵本選択のポイント

1) 物語のことばと挿絵がぴったり一致しているもの

このような絵本は、目で挿絵を追うだけで、ストーリーが理解でき、日本語力が十分でなくても、絵本の世界を楽しむことが可能です。

2) 精神的な発達に合っているもの

低学年の子どもは、繰り返しのあるストーリーを喜びます。1年生の教科書に登場する『おおきなかぶ』は、そのよい例です。

高学年になると、認知的にも、かなり複雑な物語を楽しむことができるようになりますが、外国の子どもたちには、日本語という高い壁がそびえています。絵本なら、絵の助けを借りて、ある程度複雑なストーリーを楽しむことが可能ですが、そのような絵本の数に限られています。日本に来て数カ月の5年生の男児に『11ぴきのねこ』(馬場のぼる、こぐま社)を読んでもらったときは、大笑いしながら楽しんでいました。

3) その他、子どもたちの身近な人物や話題、自然がテーマであるもの、季節的にふさわしいもの、日本の行事が紹介されているものなど

◆読み聞かせのポイント

読み手と子どもが、絵本の中で繰り広げられる物語の面白さを共有することが第一の狙いです。教育効果をねらって、文字や言葉を教え込むことは極力避けたいと思いますが、時には、感想を話し合ったり、主人公に手紙を書いたりといった活動へと展開させることがあってもいいですね。登場人物のペープサート(紙人形)を作って、劇遊びをするのも楽しいでしょう。

絵に力のある本であれば、日本語力が十分でなくても、物語を楽しむことができますが、どうしても、もどかしさが残ります。バイリンガルの支援者の方に、前もって、母語で絵本を読んでもらってから日本語で読み聞かせると、内容もより深く理解でき、日本語にも親しむことができるでしょう。

◆指導段階

リストでは、導入の目安を★の数で表してありますが、使い方によってはどの段階でも楽しめるのではないかと思います。いろいろ工夫してみてください。

- ★ 初期日本語指導の初めの段階
- ★★ 初期日本語指導の中盤の段階
- ★★★ 教科への橋渡し指導をする段階

文責: NPO法人 浜松日本語日本文化研究会代表 加藤庸子

No.	タイトル	出版社	著者作成者	発行日	価格	詳細	活用例/子どもの反応	季節	分類	学齢	指導段階	指導計画
1	あさがお	金の星社	荒井真紀	2011年6月	1200	朝顔の種まきから、その成長までをページいっぱいの絵で追うことができる。無数の花が咲くページは圧巻。	小学校1年生の生活科で朝顔を育てる学習の際、用意しておく絵本の例。観察日記をつける際も参考になる。	春～夏	知識(理科)	小学校低学年～中学年	★	小低No.48
2	あしたのてんきははれ？くもり？あめ？	福音館書店	野坂 勇作	2001年5月	945	「夕焼けは晴れ」など、自然の現象から次の日の天気を予測できることを学ぶ。生活の中の観察を通して科学的思考を促す。	「〇月〇日、〇曜日、今日の天気は〇〇です」と言えるようになった子どもたちに読み聞かせたい絵本。自然現象に関心を持ち始めた中学年以上の子どもたちには、経験を引き出しながら読み進めれば、より楽しめるのではないだろうか。	通年	知識(理科)	小学校低学年～中学生	★★	小低No.60 小中No.81
3	あっ！ゆきだ	福音館書店	フランクリン・M. ブランリー(著)、ホリー ケラー(イラスト)、たかはしつねや(翻訳)	2008年10月	1,365	雪はどうしてできるのか、雪と人や動物、植物との関係は？などの疑問に答える。	温暖な地方に住む子どもにも、この絵本を通して雪を知りたい。低学年の児童には言葉が難しいかもしれないが、絵を見て、話し合いながら読み進めるといいだろう。	冬	知識(理科)	小学校低学年～高学年	★★★	小低No.60 小中No.81
4	あやちゃんのうまれたひ	福音館書店	浜田桂子	2003年1月	840	あやちゃんの6歳の誕生日に、おかあさんが、あやちゃんが生まれたときのことを思い出し、あやちゃんに話す。	小学校2年生のあるクラスで、1月下旬のある日、「小さいころの私」についてインタビューしてくることが宿題に出された。子どもたちは、絵本のあやちゃんのように、両親に問いかけるに違いない。	通年	物語	小学校低学年～中学年	★★	小低No.62 小中No.56
5	あらしのよるに(シリーズ)	講談社	木村裕一作/あべ弘士 絵	1994年10月	1,050	あらしのよるに偶然出会ったヤギのメイとオオカミのガブが友情をはぐくむ。シリーズで7冊まで続く。	日常会話は問題のない児童に貸し出した。いつヤギのメイがガブに食べられるかとドキドキしながら読んだそうだ。	通年	物語	小学校高学年・中学生	★★★	
6	ありの あちち	福音館書店	土橋とし子 作	2002年6月	735	アリが台所に入り、いろいろな食べ物を味わってみる。最後に沸騰しているやかんに触れ、「あちち」と逃げていく話。	物語を楽しむうちに、食べ物の名前や味、擬態語などを自然に覚えられよう。	通年	物語	小学校低学年	★	小低No.53 小中
7	ありのぎょうれつ 改訂	童心社	得田 之久	2005年7月	1,050	アリが行列を作って食べ物を探しに行く様子がリアルに描かれている。	小学校3年生の国語の教科書(光村図書)に「ありの行列」が掲載されている。子どもたちが、アリに興味を持ったときを捉えて読み聞かせたい。	通年	知識(理科)	小学校低学年～中学年	★★	小低No.53 小中No.52
8	いちねんせいのいちにち	佼成出版	作：おかしゅうぞう/絵：ふじたひおこ	2004年3月	1,500	登校から下校まで、1年生の学校生活の1日が生き生きと描かれている。日本の小学校の室内や学校の施設、授業の様子、給食や掃除の様子などがわかる。	読み聞かせ用としてはちょっと難しい。絵を利用して、主人公のしゅんちゃんを探させたり、知っている言葉を言わせたりするなどして楽しませたい。	通年	物語(生活)	小学校低学年	★	
9	一休さん	あかね書房	寺村輝夫作/ヒサクニヒロ画	1976年7月	951	日本のユーモアある昔話。一休さんが和尚さんや大人をとんちでまかす、言葉の面白さにあふれた本。	来日1年で日常会話が成立する小学校高学年の児童に貸し出した。昔の言い回しや大人をまかす一休さんが面白くて何度も読み返し、妹にも読んであげたと言っていた。50音の定着とともに文の趣旨をつかめているかを確かめることができる。	通年	物語(昔話)	小学校高学年・中学生	★★★	
10	とけいのえほん いまなんじ	あかね書房	作：やましたはるお/絵：むらかみつ	1979年12月	1,365	かえる君の朝から夜寝るまでの1日の生活を、時計の絵と読み方と共に紹介する。	時計の読み方を教えるときに活用。実際に時計の模型を使いながら読み進めていくのもよい。	通年	物語知識(算数)	小学校低学年	★★★	

20	かおかおどんなかお	こぐま社	柳原 良平作	1988年1月	840	色々な表情の顔が画面いっぱいに書かれており、「たのしいかお」「わらったかお」など、それぞれにシンプルな言葉が添えられている。	小学校1年生の女兒に支援を始めてすぐの6月に読み聞かせた。日本の幼児教育を経験していないため、日本語力が低く、感情表現もうまくできない子どもだったが、絵本の顔の表情を真似て楽しんでた。	通年	物語 (感情)	小学校低学年	★	
21	がっこうでトイレにいけるかな？	ほるぷ出版	作:村上八千世/絵:せべまさゆき	2004年8月	1,300	日本人児童でも始めは使い方に戸惑う子も多い、和式トイレの使い方とマナーを、楽しく紹介。	がっこうではトイレを我慢する子も少なくない。入学・編入間もない時期に、和式トイレの使い方を説明するのに活用できる。	春	知識 (生活)	小学校低学年	★	
22	かばくん	福音館書店	岸田 衿子(ぶん)/中谷 千代子(絵)	1966年12月	840	動物園の1日をかばくんの目線で描いた1冊。寝ぼすけかばくんのもとに子どもたちがやってくる。「きたきた」「ぞろぞろ」「わいわい」など、日本語の持つリズムや、「かばより ちいさい かばのこ かばのこより ちいさい かめのこ かめより ちいさいものなんだ？」と、大きさの対比も楽しめる。	小1児童は「かば、おそい」などねぼすけのかばく顔を面白がっていたが、かばの目線で書かれているところは「かばかば(が考えてる)」と目が輝いていた。シンプルな日本語で、説明しなくても十分に読み取れる。初期日本語で読み取りの教材に向いている。	通年	物語 (感情)	小学校低学年	★★	
23	かわ	福音館書店	加古里子	1970年6月	840	山あいを川が流れる様子から海にそそぐまでの様子が細かく書き込まれている。	1ページごとに絵を楽しみながら、子どもたちから言葉を引き出していくうちに、海に到着。川についての知識を伝えたい。	通年	知識 (社会)	小学校中学年～高学年	★★★	小低 No.55 小中
24	きもち	福音館書店	谷川俊太郎(ぶん)/長新太(絵)	1978年3月	880	初めの19ページは絵だけで文はない。怒る気持や恥づかしい気持ち、悲しい気持ちなどの場面が描かれている。日本語がまだ十分でない子供でも、興味をもって絵を見ることができる。	小学1年生に読んだ。絵をよく見て、絵だけで理解していた。集団生活の中で、相手の気持ちを考える必要性を気づかせてくれる絵本。	通年	物語 (感情)	小学校低学年～中学年	★	
25	きんぎょがにげた	福音館書店	五味太郎	1977年6月	700	一匹の金魚が水槽から飛び出し、絵に紛れ込んでしまう。金魚を探しながら、「どこ」という繰り返しの表現を楽しむことができる絵本。	「学校探検」をする前に読み聞かせるとよい。場所の尋ね方も自然と覚えてしまう。来日もない小学校低学年児童に読み聞かせた。語彙が殆どない児童にとって、「どこ」というサバイバル日本語を習得するに有効な本だった。ページごとに金魚を探すこともとても楽しんでた。	通年	物語	小学校低学年	★	
26	くだもの だもの	福音館書店	石津ちひろ文/山村浩二絵	2010年6月	840	スイカの家にバナナさんやキウイさんが海水浴に誘いにきます。ところが「かいすいよくには いかない スイカ」。くだもの名前をもとにした言葉あそびが楽しい。	「マンゴーのまご、まごまごまいご」「バナナはなんばん？ななばんよ」など絵を見ながら言葉遊びを楽しみたい。文字を覚えてたのレベルでも、母語訳があれば楽しめそう。	通年	知識(ことば)	小学校低学年～中学生	★～★ ★★	小低 No.56 小中 No.53
27	くだもの なんだ	福音館書店	きうちかつ作・絵	2011年4月	1,050	「これ なんだろう？タイヤかな それとも…」と、シルエットから、くだもの名前を当てる。ページをめくると、くだもの断面と全体の絵がある。	1月下旬、小学1年生と一緒に読んだ。興味を持ってクイズに取り組んだ。柿、びわなどあまりなじみのない果物を知る機会になった。	通年	知識 (理科)	小学校低学年～中学生	★	小低 No.56 小中 No.53
28	くだもの	福音館書店	平山和子文・絵	1985年1月	840	くだものを丸ごと紹介したあとで、食べられる状態にしたものを紹介している。くだもの名前、「皮をむく」などの表現を学ぶことができる。	来日1ヶ月未満の小学1年生女兒に読んだ。絵を見て英語が出てくるような状態だったが、2～3回ですぐに英語は出なくなった。	通年	知識 (理科)	小学校低学年	★	小低 No.56 小中 No.53
29	クリスマスのふしぎなはこ	福音館書店	長谷川摂子ぶん/斉藤俊行え	2001年12月	780	不思議な箱を見つけたぼく。中にはサンタが！果たしてぼくの所にサンタはやってくるのか！気になって気になって…	小学1年生に12月に途中まで読んでもらった。ひらがなとカタカナで書かれていて、促音、濁音などの勉強になった。大人が読むと2分半で読める程の短い話なので、5分ほどの残り時間があれば実施できる。	冬	物語 (ファンタジー)	小学校低学年	★★	

30	ぐりとぐら	福音館書店	なかがわりえこ文／おむらゆりこ 絵	1967年1月	840	野ねずみのぐりとぐら。森の中で見つけた大きな卵を使い、大きなカステラを作ります。	野ネズミが主人公のストーリーに惹き付けられていた。ぐりとぐらがかけ声をかけながら歩く場面は、一緒に声を出すと楽しい。読み聞かせが終わった後、手に取ってイラストをじっくり眺めている子どももいた。	秋	物語	小学校低学年	★★	
31	ぐるんぱのようちえん	福音館書店	西内ミナミ作／堀内誠一 絵	1970年12月	840	大きなものばかり作ってしまうぞうのぐるんぱ。最後に作った幼稚園はまた失敗に終わるのか。子ども達が引き寄せられる絵本。	1月下旬、小学1年生に読んだ。とてもよく聞いてくれた。主人公ぐるんぱの気持ちを理解しようとしているようだった。	通年	物語	小学校低学年	★★	小低 No.75 小中 No.77
32	けんかのきもち	ポプラ社	柴田 愛子(著)、伊藤 秀男(イラスト)	2005年12月	1,260	たいは毎日「あそび島」で遊ぶ。一番の仲良しは、こうただ。しかし、ある日、こうたとすごいけんかをして負ける。けんかの気持ちを子どもの視点でとらえる。	日本の生活に馴染め、友達との「ちょっと困ったこと」を抱える児童に読み聞かせたい。仲直りの後のすがすがしさも感じられる本。	通年	物語(感情)	小学校低学年～高学年	★★	小高 No.40
33	コッコさんとあめふり	福音館書店	片山建	2007年5月	780	コッコさんは雨が降ったのでてるてる坊主を作りますが、なかなか雨が止まないの、手紙や宝物を入れる、という話。	2月初旬、雨降り2日目に小学1年生に読みました。テルテル坊主を知っていると言っていました。終わりの方のテルテル坊主の表情の変化に気づいて、「人間なの？」と聞いてきました。	通年	物語	小学校低学年～中学年	★★	小低 No.60 小中 No.81
34	こんちゅうの一生(シリーズ全5冊)	福音館書店	得田之久文・絵	2010年6月	1,050	かまきり、とんぼ、ちょう、はち、かぶとむしの一生がきっちりとした絵とわかりやすい文章で書かれている。	子どもたちが身近な昆虫に興味を持ったとき、読み聞かせたい。	通年	知識(理科)	小学校低学年～中学生	★★★	小低 No.52 小中 No.48
35	こんにちは どうぶつたち	福音館書店	とだきょうこ 案 / さとうあきら 写真	2002年6月	735	見開きの左のページに「こんにちは ゴりら」、右のページにゴリラの顔のアップの写真というような単純な絵本。	ひらがなを覚えると、自分で読める楽しさを味わうことができる。	通年	知識(理科)	小学校低学年	★	小低 No.49 小中 No.48、49
36	サザンちゃんのおともだち	偕成社	加古里子	1973年12月	1,050	アフリカを舞台にして作られたお話。学校に通っている男の子が、帰り道の林の中で、動物の子どもたちに、自分が学校で勉強してきたことを教えます。教える楽しさ、学ぶ楽しさが伝わってくる絵本です。	動物の子どもたちが可愛いけれど写実的に描かれ、動物の仕草や男の子とのやり取りがユーモラスで、楽しい絵本です。「1たす1はいくつですか」などの会話もあり、聞いている子どもは、ちょっと得意げになりながら楽しんでた。	通年	物語	小学校低学年	★★★	
37	さつまのおいも	童心社	中川ひろたか文／村上康成 絵	1995年6月	1,300	さつまいもが土の中で暮らす様子が描かれている。人間との綱引きに負けて、食べられるが、くさいおならで最後はおいもの勝ち。	さつまいもの季節、1日の生活の流れを学んだ後に読ませたい。さつまいもが人間と同じように起きて、歯磨きして、お風呂やトイレなどする様子がユーモラスに描かれているので、小1児童は大喜び。おならという言葉も初めて学んだ。	通年	物語	小学校低学年	★	
38	サンドイッチ サンドイッチ	福音館書店	小西英子	2008年9月	362	パンにはさむ食材が色鮮やかに優しいタッチで描かれている。ページごとにサンドイッチが出来あがっていく過程が楽しい。	「色・形」や「給食」のトピックで学習する際、読み聞かせるとよい。来日1か月の小学校低学年の児童に色や食べ物の名前を教えた際、読み聞かせをした。1ページに3語文程度で、自分の力で拾い読みができて嬉しそうだった。	通年	物語(たべもの)	小学校低学年～高学年	★	
39	しっぽ	文化出版局	長新太	1975年12月	561	いろいろな動物のしっぽが擬態語と共に出て来る。(例: りすのしっぽはぼさぼさ、きつねのしっぽは、ぼさぼさ)。単純な繰り返し絵本。	しっぽ取りゲームの前にみんなで楽しみ、「みんなもしっぽをつけて遊ぼうか」と声をかけたら盛り上がるだろう。	通年	知識(理科)	小学校低学年	★	小低 No.41 小中 No.42

40	しっぽのはたらき	福音館書店	川田健文 / 藪内正幸絵 / 今泉吉典監修	1976年3月	945	見開きの画面の右端に、ある動物の後ろ半分が描かれている。「何のしっぽだろう？」と好奇心をそそられる。答えは次のページにしっぽの働きと共に、絵と文章で示されている。	クイズとして楽しめる。美しい絵にも魅了される。言葉が十分に理解できない段階でも、絵から多くのことを読み取りたい。	通年	知識(理科)	小学校低学年～高学年	★★	小低 No.49 小中 No.48, 49
41	11ぴきのねこ	こぐま社	馬場のぼる	1967年4月	1,260	いつもおなかを空かせている11ぴきのねこが、怪物のように大きな魚を捕まえようと大奮闘をするというストーリー。最後のどんでん返しが楽しい。	夏休みの支援教室で、3～5年生の子どもたち5人に読み聞かせた。日本語力はバラバラだったが、絵の助けもあり、どの子どももストーリーを楽しむことができた。	通年	物語	小学校低学年～高学年	★★	
42	しゅくだい(えほんのマーチ)	岩崎書店	宗正 美子文 / いもとようこ絵	2003年9月	1,365	どうぶつたちの学校で出た宿題は「だっこ」。家族の愛が温かい絵で描かれている。	家族名称や感情を表す言葉を学んだ後に使用するとよい。普段は活発な小1児童が読み取れていたのだろう、照れくさそうな表情だった。「私もだっこの宿題がいい」と言っていた。	通年	物語	小学校低学年	★★	
43	しりとりしましょ たべものあいうえお	リーブル	さいとうしのぶ	2005年11月	1,800	子どもたちの大好きなしりとりを、ユーモラスな絵でつなげていく。普通のしりとりにはなかなか登場しない食べ物もたくさん出てくる。	ひらがなを習ったばかりの児童が、楽しみながら発音練習できる。絵も面白いので、「この人は何しているの？」と絵を使って質問のやり取りもできる。	通年	知識(ことば)	小学校低学年から	★	
44	しろくまちゃんのほっとけーき	こぐま社	わかやま けん	1972年10月	840	しろくまちゃんが、お母さんと一緒にホットケーキを作るお話。ホットケーキがだんだん焼けていく工程が、楽しい擬音とともに見開きページにずらりと並んでいる。外国人児童が苦手な擬音語が学べる。	小1児童も擬音語を「ぼたーん、ふつふつ、ぺたん」など一緒に言ってくれた。おいしそうなほっとけーきを前に「おいしそう」「あ～食べたい」などの感想も笑顔でたくさん出た。	通年	物語	小学校低学年	★★	
45	ずーっとずっとだいすきだよ	評論社	ハンス・ウィルヘルム作・絵 / 久山太市訳	1992年11月	1,260	小学校1年生の国語の教科書(光村図書下)に掲載されているもの。教科書に比べ、1ページ当たりの文字数が少ないため、負担が軽減され、物語を楽しむことができる。	国語科授業で学ぶころに小1女兒に読んだ。教科書に載っていない挿絵を見つけて、喜んでいて。クラスのお友達にも見せて皆で楽しんだ。	通年	物語	小学校低学年	★★	
46	スーホの白い馬	福音館書店	大塚勇三再話 / 赤羽末吉絵	1967年10月	1,365	モンゴルに伝わる楽器、馬頭琴の由来を描いた絵本。小学校2年生の国語教科書(光村図書)に取り上げられている。	日常生活の日本語には問題がないが、国語の時間にはまだちょっと、という3年生の子どもに読み聞かせた。「これ、2年生のときにやった」と言いながら、最後まで物語を楽しんだ。終わると、「ホー」とため息をついた。	通年	物語	小学校低学年～高学年	★★★	
47	せんろはつづく	金の星社	作: 竹下文子 絵: 鈴木まもる	2003年10月	1,260	線路をつなげていく途中にある山や川などの障害物。「やまがあった。どうする?」「あなをほろう。トンネルだ!」などが繰り返される。「れっしや」「てっきよう」など、ひらがなの読みの練習にもちょうどいい。	ひらがなを習ったばかりの小学生に音読させた。次はどうしたらいいのかな?と、児童と一緒に解決法を予想しながら読むのも楽しい。	通年	物語(のりもの)	小学校低学年	★	
48	ぞうくんのさんぽ	福音館書店	なかのひろたか作・絵 / なかのまさたかレタリン	1981年4月	840	ぞうくんが散歩に出かけ、いろんな動物を背中に乗せていく話。大型本もある。	同じやりとりの繰り返しなので、セリフを覚えた小1児童は、嬉しそうに「うん、うん、おもいな」など言っていた。	通年	物語	小学校低学年	★	小低 No.71

49	だいくとおにろく	福音館書店	松居直再話 /赤羽末吉 画	1967年2月	840	流れの速い川にどうやって橋をかけようかと大工が考えていると、川の中から「ぶっくり」鬼が出てきて、目玉をよしたら橋をかけてやるという。	カレンダーで2月3日を示しながら、もうじき節分が来て「鬼はそと」と豆をまくと説明した後、「鬼が出てくる話を読むよ。」と言って読み始めた。小学1年生の彼女には、少々理解し難いようだったので、少し補足説明をした。	通年	物語 (昔話)	小学校低学年～高学年	★★★	
50	だじゃれ日本一周	理論社	長谷川義史 作・絵	2009年12月	1,365	都道府県の紹介がだじゃれと共にされる。楽しいイラストを見ながら日本の都道府県に親しめる。	放課後勉強会の折のちょっとした息抜きに、みんなで、わいわいと言いながら楽しめそう。子どもから質問がなければ、ダジャレの解説は「無し」にしたい。	通年	知識 (社会)	小学校中学年～中学生	★★★	
51	ちいさなきいろいかさ	金の星社	もりひさし作 ／にしまき かやこ絵	1971年2月	1,155	黄色い傘を買ってもらった女の子が散歩に出かけると、いろいろな動物が女の子の傘に入ってくるが、雨が上がると、みんな帰っていく。	読み終わった後、空想を広げ、「小さな青い傘」「小さな赤い傘」などのお話作りをしたり、絵を描いたりしても楽しいだろう。	通年	物語 (ファンタジー)	小学校低学年	★★	
52	ちいさなねこ	福音館書店	石井桃子(さく) /横内襄(絵)	1963年5月	840	ちいさな猫が、親の目を盗んで外へ飛び出した。車にひかれそうになったり、犬に追いかけられたり。そんな時、母猫がやってきて助け出してくれた。子供の視点で描かれている絵本。子供達は、ハラハラドキドキしながら絵本にひきつけられる。	小学1年生に読んだ。子猫のピンチに目がくぎ付け。最後に母猫に救われ、おっぱいを飲むところでホッとしていた。勉強が進んだ時のご褒美として読んだ。	通年	物語	小学校低学年	★	
53	ちいさなふゆのほん	福音館書店	ヨレル・クリ スティーナ・ ネースルン ド文 /クリ スティーナ・ ディーグマ ン絵 /ひしき あきらこ訳	2010年1月	1,155	そりやスキーや雪だるま作り、雪のおうちだって作れるよ。雪国の子どもたちの遊びが静かに淡々と描かれている。	暖地の子どもたちにも、雪国の子どもたちにも、スウェーデンの子どもたちに思いを馳せながら、楽しんでもらいたい。「雪だるまも作れます」などと、可能表現がさりげなく出てくるが、「みんなも作れるかな？」と聞いたら、「うん、作れる、作れる」と、自然に可能表現で答えてくれそう。	冬	物語	小学校低学年～高学年	★★	小低 No.60 小中 No.81
54	てぶくろ	福音館書店	エウゲー ニー・M・ラ チョフ・え う ちだりさこ・ やく	1965年11月	1,050	おじいさんが森の中に落として行った手袋の中に、次々と動物が住み始める。「だれ、てぶくろにすんでいるの？」「くいしんぼねずみ。あなたは？」といった会話が繰り返される。	冬のある日、小学1年生に読んだ。手袋に次から次へと動物が入っていくという繰り返しの内容を、声をあげて楽しんでた。劇に発展させても楽しい。また、それぞれの登場人物の特徴を考えさせるような穴埋め問題を作ることもできる。	冬	物語 (ファンタジー)	小学校低学年	★	
55	トイレせんちょう	フレーベル館	作:片平直樹 絵:松成真理子	2007年8月	1,000	ノックをする・水を流す・手を洗うという、トイレのマナーを守らなかった男の子の前に、トイレ船長が現れ、説教をする。トイレの使い方を楽しく教える本。	入学・編入間もない適応指導の時期に、トイレの使い方やマナーを教えるときに使いたい。バイリンガルの方の支援員の方に母語で読み聞かせてもらえるといいだろう。	通年	物語 (生活) 知識 (社会)	小学校低学年～中学年	★	
56	トイレにいいかい すか 改訂新版	あかね書房	寺村輝夫作 和歌山静子 絵	2006年8月	1,260	学校で授業中にトイレに行くのは勇気がいる。一人で廊下を歩く男の子。すると、いろいろな動物たちがやってきて、一緒に歩いてくれるという物語。	日本の学校文化をそれとなく伝えることができる。日本の学校に編入して間もない子どもたちに読み聞かせたい。バイリンガルの方の支援員の方に母語で読んでもらえるといいだろう。	通年	物語 (生活)	小学校低学年	★	小低No.3 小中No.3
57	どうすればいいの かな？	福音館書店	わたなべし げお(ぶん) /おおもや すお(絵)	1977年4月	780	こぐまが、シャツをはいたり、パンツを着たり、くつをかぶったり…。日常の動詞の確認に活用できる。	その場面ごとに「どうすればいいの？」と聞かれるので、子供達は喜んで「こうするんだよ。」と動作をしながら答えてくれる。1年生の子どもに読んだが、「くつをはく」という言葉はこの絵本で覚えた。	通年	物語	小学校低学年	★	

58	どうぶつえんガイド よんでたのしい！って たのしい！	福音館書店	あべ弘士/ あべまさたか(デザイ	1999年4月	1,680	41種類の動物のを紹介している。見開きいっぱい動物と周りの様子が愛嬌たっぷりに描かれている。	こまごまとした絵や図解による情報量がかなり多いので、今日は象のページ、と決めてから読むのもよい。	通年	知識	小学校低学年～高学年	★★	小低 No.53 小中
59	どうぶつえんであそぼ (シリーズ全12冊)	福音館書店	ふくだとよふ み写真 / なかのひろみ 文	2004年9月 ～2006年10月	各420	きりん、象、ライオン、かば、とら、コアラ、さい、しまうま、白熊、パンダ、ゴリラ、カンガルーがある。それぞれの動物の様々な特徴を白黒写真で見開きいっぱいに紹介している。本文のページには文字がないが、見返しに解説がある。(タイトルは全てひらがな)	動物園へ遠足に行く前に、子どもたちと一緒に楽しみたい。特に発話を要求しなくてもいいだろう。「ライオンの爪、すごいね」「うん、とがっているね」など、自然な発話が生まれる可能性がある。	通年	知識 (理科)	小学校低学年～高学年	★	小低 No.53 小中 No.49
60	どうぶつのおかあさん	福音館書店	小森厚文 / 薮内正幸絵	1985年11月	840	12種類の動物の親がどうやってこどもを運ぶのかが描かれている。	動物名を学んだ後に読むといい。きれいな絵に小1児童は引き込まれていた。読み終わった後も、動物の絵をじっくり見ていた。	通年	知識 (理科)	小学校低学年	★	小低 No.49 小中
61	どうぶつのおやこ	福音館書店	薮内正幸絵	1970年11月	780	動物の親子が見開きのページいっぱいに、くっきりと描かれている。文字はない。	絵をじっくりと見せたい。気づいたことを言わせてもよいが、日本語力のない子どもには、指導者が「お母さんを見て、わんわんて、ないているね。どうしてかな？おなかですいたのかな」などと話してやるのもいい。	通年	知識 (理科)	小学校低学年	★	小低 No.49 小中 No.48, 49
62	どうぶつのこどもたち	福音館書店	小森厚文 / 薮内正幸絵	1993年4月	840	犬、猿、キリン、象などの動物のこどもの遊びが生き生きと描かれている。例えば、「いぬのこどもたちは、おいかけてっこをしてあそびます」などという言葉と共に、追いかっこをする2匹の犬が見開きのページに登場する。	絵本を読み終わった後、「犬の子どもたちは何をして遊びますか」「ぞうのこどもたちは？」「じゃ、みんなは何をして遊ぶのかな？」と会話を楽しむことができる。	通年	知識 (理科)	小学校低学年	★★	小低 No.49 小中 No.48, 49
63	トマトさん	福音館書店	田中清代作	2006年7月	840	熟れて地面に落ちたトマトは、太陽に照らされ暑くて涙を流しますが、虫たちの助けを借りて、川まで辿り着く。	日本語に触れて8カ月の小学校1年生の女児が興味を持って手に取った。彼女にとって、かなり長い文章だったが、自分で読みたがり、物語の展開に興味を持って一生懸命読んだ。文字が読めるようになったことが嬉しい様子だった。	夏	物語	小学校低学年～中学年	★★	小低 No.42 小中 No.43
64	なにのこどもかな	福音館書店	薮内正行 文・絵	1991年3月	900	9種類の動物の親子が紹介されている。先に動物の子供の絵が出て、次のページに親の動物が出てくる。クイズのようで楽しい。	動物名を学んだ後に読むといい。小1児童は自然に「なにのこどもかな」と言いながら、ページをめくっていた。親子の愛情が読み取れ、児童も穏やかな気持ちになっていた。	通年	知識 (理科)	小学校低学年	★	小低 No.49 小中 No.48, 49
65	にんじん(いやだいや)の絵本	福音館書店	せなけいこ	1969年11月	630	「にんじんの好きな子だあれ」色々な動物や子供がおいしそうににんじんを食べる。にんじん、動物の名前が学べる。	野菜名を学んだ後に、小1児童に読み聞かせた。切り絵が愛らしく、ページをめくるとたびに、動物の感想を言ってくれた。	通年	物語	小学校低学年	★	
66	ねずみくんのチョッキ	ポプラ社	なかえよし を作/上野紀子 絵	1978年8月	1,050	ねずみくんを初め、7種類の動物が小さい順に登場し、「ちょっとかしてよ」と言いながら、ねずみくんのチョッキを身につけていく。	ひらがなを習ったばかりの小学3・6年生に音読させた。だんだんチョッキが伸びていく様子を面白がった。「チョッキ」が何度も出てくるので、読み方の練習になった。	通年	物語	小学校低学年～中学年	★	小低文 字・語彙 No.21
67	ノンタンぶらんこのせて	偕成社	キヨノサチコ	1976年8月	630	ノンタンシリーズのデビュー作。ブランコを独り占めしているノンタン。友だちは10まで数えたら交代してと提案。でも、ノンタンは実は数を10まで数えられない。最後は代わりばんこをする楽しい唱歌を歌いながらみんなで仲良く遊びます。	自我と集団がぶつかり合う中で育っていく子どもの世界を表している絵本で、子どもたちは自分の気持ちと重なり合わせるかのように話に引き込まれていた。楽しい絵とリズムのある文、楽しい唱歌があり人気の絵本だ。	通年	物語	小学校低学年	★	

68	はじめてであうずかん 1～5	福音館書店	相笠昌義絵 /小森厚指導	1980年2月	各945	「こんちゅう」「けもの」「とり」「さかな」「しょくぶつ」がある。丁寧に克明に描かれた絵が美しい。生態別、季節別などに分類されており、ひらがなで名前が書かれている。	小学校1年の女兒は、暇があると図鑑を眺め、気に入った虫の名前を拾い読みしては、知る喜びを味わっていた。そんな子に、この図鑑を与えたい。	通年	知識 (理科)	小学校低 学年～中 学生	★	小低 No.49, 53, 54 小中 No.50, 51, 52
69	はじめてのゆき	福音館書店	中川李枝子 作 / 中川宗 弥絵	2000年1月	840	はじめて雪に出会ったとらのこ、とらたが雪と遊ぶ様子が描かれている。	初めて雪が積もった2月のある日、授業は急遽お楽しみタイムに変更。インドネシアから来た姉妹は、みんなと一緒に雪だるまやおにぎりを作って大喜びだった。こんな経験をした後は、日本語力が十分ではなくても、絵を通してとらたと共感できるだろう。	冬	物語	小学校低 学年～中 学年	★★★	小低 No.60 小中 No.81
70	葉っぱのフレディ～いのちの旅～	童話屋	レオ・バス カーリア作 / みらいな な訳	1998年10月	1,575	「生きる」とは何か、「死」とはどこへ行くことなのか。大自然の営みを通して、人間も自然の一部であり、「変化することは自然なこと」だと気付かせてくれる。自分の力で「考える」ことを始めた子どもたちに贈る、アメリカの哲学者が書いた生涯ただ1冊の本である。	子どもは子どもなりに、「どうして自分は生まれてきたのか」「生きている意味はあるのだろうか」と考え、時に真剣に悩むときがある。そんな時に、子どもの存在そのものを尊重する言葉に触れさせることで、自己肯定感を高めることができると考える。	春～ 秋	物語 知識 (動物、 自然)	小学校高 学年～中 学生	★★★	
71	はなをくんくん	福音館書店	ルース・クラ ウス文 / マーク・シー モント絵	1967年3月	1,050	冬の間静かに眠る動物の嗅覚を誘う、春の花。季節感溢れる絵本	「ノネズミが眠ってるよ」「クマが眠ってるよ」「みんな目をさます」「はなをくんくん…」言葉のリズムを楽しみながら読み聞かせたい。	冬の 終わる 頃	物語	小学校低 学年～中 学年	★★	
72	はらぺこあおむし	偕成社	エリック・ カール(絵・ 文) / もりひ さし(訳)	1993年2月	1,260	うまれたてのあおむしがお腹がすいて、いろいろなものを食べてチョウになるまでを曜日によって描いている絵本。曜日と数・助数詞(ひとつ、ふたつ)、食べ物の名前を学べる。	カラフルな食べ物が出てきて、小1児童は大喜び。読んだ日に「おなか、ぺっこぺこ」とつぶやいたので、青虫と同じつぶやきだねと指摘すると、本人も驚いていた。	通年	物語	小学校低 学年から	★	小低 No.54
73	ふしぎなナイフ	福音館書店	中村牧江/ 林健造(さく) ・福田隆義(絵)	1997年2月	840	たった1本のナイフしか登場しないシンプルな絵本。そのナイフがまがる、ねじれる、おれる…。語彙を増やすのに役にたつ。	子供達が大変興味をしめす。動詞が色塗りされているので、その部分だけを1年生に読ませた。読み手も身体を使いながらページをめくった。	通年	物語 (ファン タジー)	小学校低 学年から	★	
74	ふたりはともだち	文化出版局	アーノルド・ ローベル (著)、三木 卓(翻訳)	1976年11月	998	がまくんとかえるくんの友情のお話が5編収録されている。「お手紙」は小学校2年生の国語の教科書(光村図書、下巻)で取り上げられている。	「お手紙」は、絵を利用して紙芝居作りとしても楽しい。そのほかの物語も、がまくんとかえるくんに親しみを持った子どもたち、すんなりと受け入れられるだろう。	通年	物語	小学校低 学年から	★★★	小低 No.77 小中 No.79
75	ふゆじたくのおみせー おおきなクマさんとち いさなヤマネくん	福音館書店	ふくざわゆ みこ	2007年9月	1,260	くまさんとヤマネくんは冬の支度のために、「ふゆじたくのおみせ」へ買い物に行く。森の秋の様子が生き生きと描かれている。	四季のない国から来た子どもたちに、冬が来る前に読み聞かせたい。言葉はやや難しいが、絵で物語の展開が理解できるだろう。	秋～ 冬	物語	小学校低 学年～中 学年	★★★	小低 No.60, 61 小中 No.81
76	ぼくのママが生まれた 島 セブ～フィリピン～	福音館書店	作: なとりち づ・おおとも やすお / 絵: おおともやす お	2010年10月	1,470	フィリピン人の母親を持つ姉弟が、フィリピンの祖父母とクリスマスをお祝いするため、初めて母の故郷、セブ島を訪れ、そこでの温かな文化や習慣に触れるお話。	フィリピンにつながる中学2、3年生に読み語りをした。途中出てくる言葉に「ロロ・ロラはおじいちゃん、おばあちゃんと呼び方だよ」とか、「ハロハロ大好き！おいしいんだよ！」など、懐かしそうに、嬉しそうに話してくれた。	冬	物語 (生活) 知識 (社会)	小学校中 学年～	★★★	

77	ほんのすこしの勇気から～難民のオレアちゃんに教えてくれたこと	求龍堂	日本国連HOR協会ボランティア・絵本プロジェクトチーム	2005年7月	1,050	「難民の問題を身近な問題として感じてもらえるようにわかりやすい本を作ろう」というプロジェクトで作成された絵本。戦争を逃れて日本にやってきた少女との出会い、「わたし」が勇気を出して話しかけたことがクラスみんなが仲良くなるきっかけとなったこと、少女から戦争体験を聞き共感し合う姿、などを描く。	やや長めの絵本で、扱っているテーマも深刻である。年齢によって、また対象児童生徒の日本語力によって、読む範囲を考えたい。前半4分の1ぐらいのところまでなら、小学校3年生ぐらいでも理解できるだろう。	通年	物語（感情）、知識（社会・国際問題）	小学校中学年～中学生	★★★	
78	町たんけんーはたらく人みつけた（みぢかなかがく）	福音館書店	秋山とも子文・絵	2001年4月	1,260	小学校の子どもたちが、担任の先生と一緒に町の探検に出かけ、町で働く人たちを見つけるという内容。1ページの中に、いろいろな情報が詰まっている。	地域探検に行く前に、あるいは、大きくなったらどんな仕事をしたいかなどを話し合う際にあると便利。店の名前、いろいろな仕事を知ることができる。	通年	知識（社会）	小学校中学年から	★★★	小低 No.55, 76 小中 No.61
79	まっかなまっかな木	北海道新聞社	三浦綾子・文／岡本佳子・絵	2002年4月	1,260	「氷点」等で知られる三浦綾子さんが、好奇心いっぱいの子どもたちに残した1冊の絵本。遠くに見えるまっかな木を目指す男の子の小さな冒険と達成する喜びを描く。	主人公は途中で何度も気が散ってしまうが、最終的には目標を達成できた。「決めたことをやり遂げる」ことが苦手な子に読んであげるとやる気を引き出せると思う。	秋	物語	小学校低学年～中学年	★★	
80	道ばたの四季	福音館書店	岡部牧夫・文／たかはしきよし・絵	1984年5月	1,575	立ち止まり、しゃがんで道端を見ることで、たくさんの自然が見えてくることを、温かい絵と文で紹介している。身近な生き物や植物に興味を抱くような内容になっている。	放課後支援の折、小学校3年生の子どもが書き取り帳に「野原、野原、…」と練習していた。学校で漢字検定があるのだと言う。「野原って知ってる？」と聞くと、知らない、と言う。この絵本を開いて見せたら、一目瞭然だったのだが…。	通年	知識（理科）	小学校低学年～中学生	★★	
81	みんな うんち	福音館書店	五味太郎さく	1977年7月	880	人間や色々などうぶつのうんちの形状やうんちの仕方をリズムカルな言葉で紹介している。	小学1年生男子に、勉強に飽きた時に読んだ。興味を持ちながらも、少し恥ずかしそうな顔をしていた。うんちの必要性を話した。	通年	知識（理科）	小学校低学年～中学年	★	
82	ももたろう	福音館書店	松居直再話／赤羽末吉絵	1965年2月	1,155	桃から生まれた桃太郎がきび団子を持って、犬、猿、きじと一緒に、鬼が島へ鬼退治に行くという日本の伝統的な昔話。	教科書の神話や昔話に親しむ前に、絵と文章が密接に結び付いた「ももたろう」の昔話を楽しませたい。	通年	物語（昔話）	小学校低学年～高学年	★★★	
83	やさい	福音館書店	平山和子文・絵	1986年9月	840	畑で成長した野菜と、八百屋さんに並んだ野菜がリアルで力強いイラストと必要最小限の言葉で表される。	トマトやキャベツを知っていても、「野菜」という上位概念がない子どもには、裏表紙の絵をじっくり見せたい。	通年	知識（理科）	小学校低学年～中学年	★	小低 No.57 小中
84	やさいのおなか	福音館書店	木内勝文・絵	2001年1月	1,050	左のページに「これなあに」、右のページにネギ、トマトなど身近な11種類の野菜の黒塗りの断面図。ページをめくると、野菜の名前と断面図、丸ごとの野菜の絵がカラーで絵が描かれている。	1月下旬、小学1年生に読んだが、とても興味を持って見た。人参、きゅうりなどの世界のどこにでもある野菜は知っていても、竹の子や蓮根などは知らなかった。給食でお目にかかっているはずだが。	通年	知識（理科）	小学校低学年～高学年	★	小低 No.57 小中 No.54
85	ゆかいなかえる	福音館書店	ジュリエット・ケペシュ文・絵／石井桃子訳	1968年7月	945	卵からかえったおたまじゃくしがかえるになり、数々の危険に遭遇しながらも、のびのびと遊び、やがて冬眠するまでを描く。	夏、学校でプールの授業が始まるころに読み聞かせ、この絵本に登場するカエルたちのようにプールを楽しんでもらいたい。	通年	物語（動物）	小学校低学年～高学年	★★	小低 No.42 小中 No.43
86	わたしのワンピース	こぐま社	西巻茅子作	1969年12月	1,155	ウサギが自分で作ったワンピースを着て散歩に行くと、ワンピースの模様が背景に合わせて次々に変わっていく。繰り返しを楽しむ絵本。	次々と変わるワンピースの模様や「わたしに似合うかしら」という繰り返し出てくる言葉を楽しみたい。	通年	物語（ファンタジー）	小学校低学年	★★	

★初期日本語指導の初めの段階
★★初期日本語指導の中盤の段階
★★★教科への橋渡し指導の段階